

BY（びーわい）スタンプ 第5回 運営会議 要旨（速報版）

日 時：平成 16 年 12 月 9 日（木） 14:00～17:00

場 所：機構 4 階 会議室

参加者：

区分	団体名	代表者	備考
運営委員	天の川を清流にする会	笹本宰正	
	猪名川・神崎川水質研究グループ	中本二郎	
	鶴殿クラブ	江口 聡	欠席
	ひらかた星垂の会	赤城正幸	
	「ええことネット」交野ケナフの会	松山岩脇	欠席
	川の会・名張	川上 聡	欠席
	近木川流域自然大学研究会	橋本夏次	
	子どもと川とまちのフォーラム	塚本明正	欠席
	東近江水環境自治協議会	丹波道明	
	琵琶湖・淀川水系を考える会	吉川繁樹	代理
	水と文化研究会	小坂育子	欠席
	淀川愛好会		富田忠明
		澤井健二	
		浜	
事務局 (機構)	青木局長、河野次長、森本部長、吉村部長、 芳谷研究員、山下事務職員		

議題

- 1．BYスタンプラリーの状況
- 2．意見交換等
- 3．その他

1．BYスタンプラリーの状況

事務局より、1) BYスタンプラリーの状況（資料1）を説明。

2．意見交換等

事務局より、2) 意見交換等（資料2）を説明し、意見を求めた。

2.1 来年度のBYスタンプラリーについて

活動状況に関するアンケート調査結果を報告し、意見を求めた。

BY スタンプラリーに関する市民の反応は大きいと感じている（問い合わせや、ホームページを見た等）。

かわら版等の情報ツールの中に、各協賛グループの活動をPRできる欄を設けても良いのではないかと（協賛グループの年1回の最大イベントの特集記事を掲載する等）。

猪名川流域では協賛グループが少ないため、他の団体の活動に参加しにくい。

尼崎方面には、河川活動団体が多数あるのではないかと（例えば大覚寺等）。

阪神南泉民局に問い合わせると紹介してもらえる（担当：橋本氏）

ルールの改善案について

施設のみで上級までステップアップする、同一グループで実施日が異なってもOK、

施設スタンプの捺印数を増やす（１ ２）

台紙の NPO と施設との押し分けを分かり易くする（台紙の色を別にする等）

河川清掃等の類似した活動団体を集合して、流域イベントとして合同で実施する等
ポスターを小学校で掲載する等

ノボリがあれば PR し易い 等

運営会議の総意として、来年度も BY スタンプラリーを継続して実施することについて賛同を受けた。

ただし、本年度と継続して実施するため、今後使用する各ツール（台紙、かわら版等）での告知や実施期間の見直しを随時行うものとする。

次回運営会議までに、各意見を踏まえた来年度の BY スタンプラリーのルールづくりを行うものとする（出来次第事前に各委員に配布して意見を収集する）。

2.2 BYQ ネットワーク交流会について

交流会について、開催日と開催場所及び、プログラム案を提示し、意見を求めた。BYQ10 周年記念シンポジウムで使用した「流域衛星写真パネル」を会場内に設置し、各団体の活動場所をプロットしても良いのではないかと。

座談会形式を採用してはどうか ただしコーディネーターが大変。

ワークショップ形式で複数のグループで議論し、各グループ代表（コーディネーター）と総合討論会を実施しても良いのでは。

ワークショップは流域単位とし、例えばコーディネーターに流域内の大学の生徒を起用すればおもしろい。

琵琶湖流域（滋賀県立大学、嵯峨野芸術大学）、桂川木津川流域（京都造形芸術大学）、淀川流域（摂南大学）、猪名川流域（関西学院大学）、南大阪（大阪府立大学）

総合討論会のファシリテーターとして、久保田洋一氏（関西総合研究所）が適任ではないかと。

BYQ 関係の活動報告は、各団体の活動紹介と同一に実施しても良いのでは。各種意見を踏まえて、事務局で案を作成する。

3 . その他

次回運営会議：平成 17 年 2 月 16 日（水）14:00～、機構 4 階会議室

以上